

豊橋市議会臨時会傍聴記

地方政治クリエイター 伊藤 秀昭

■悲願の正副奪取 15日に招集された豊橋市議会臨時会において、新しい議長が誕生した。分裂していた自民系の二会派が4月に再編。四年ぶりに自民党を冠した「自民党豊橋市議団」が結成され、その議員団から五期の藤原孝夫氏が第73代議長に就いた。副議長も同市議団から坂柳泰光氏が選出された。

最大会派から議長が選出されないとい

町村長で合意がなされ、規約、県との協議、権限移譲の許可申請を進めるなど明確なスケジュールに入ったことを踏まえ、東三河8市町村の各議会で意見集約をし、東三河市町村議会協議会の議論を

一人の一期生議員が「初年度に一期生12人で議長が一年ごとに交代し、その度に争うのはいかげなものと申し入れた信念を貫いて」岡本氏に投票した。

さあ、船が出るぞ！準備を怠るな



一人の一期生議員が「初年度に一期生12人で議長が一年ごとに交代し、その度に争うのはいかげなものと申し入れた信念を貫いて」岡本氏に投票した。

また、藤原氏自身がこの10年来、将来に向け浜松市、飯田市、田原市などの議員との勉強会や交流を行ってきた経験を踏まえ、「今後、さ

再任に挑むかと思われた岡本前議長は「自分を議長に押し上げてくれた三派連合(豊隆会、公明、まちならみ)が崩れた以上、多くの

4月の東三河広域連合設立に向けて8市

13日に就任した蒲

さあ、船が出るぞ！準備を怠るな。